

平成 27 年度第 5 回一関市まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録

- 1 会議名 平成 27 年度第 5 回一関市まち・ひと・しごと創生有識者会議
- 2 開催日時 平成 27 年 10 月 14 日（水） 13 時～14 時 40 分
- 3 開催場所 一関保健センター 会議室 3・4
- 4 出席者

【一関市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員】

秋山真紀子委員、小野寺真澄委員、佐々木吉幸委員、佐藤馨委員、佐藤進委員、佐藤善子委員、柴田尚志委員、滝上亜寿香委員、千葉実委員（座長）、野村勉委員、藤田勝敏委員
（欠席委員）

伊藤龍治委員、河合純子委員（副座長）、熊谷由美子委員、鈴木里美委員、千葉幸則委員、渡邊美紀子委員

【市側出席者】

佐藤市長公室長、千葉政策企画課長、藤島政策企画課主幹

5 議 題

- (1) 「一関市人口ビジョン（案）」について
- (2) 「一関市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」について

6 公開、非公開の別
公開

7 傍聴者の数
報道 2 社

8 会議の内容

【協議】

- (1) 「一関市人口ビジョン（案）」について
政策企画課主幹：資料No.1により説明
- (2) 「一関市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」について
政策企画課主幹：資料No.2により説明

（意見・質疑）

委員：市で目標とする出生率が 2.12 と高くなっているのは、国・県の目標に対応し、かつ従前から国・県より高い水準で推移していることと、アンケートの結果からという理解でよいか。

市：最終目標としては市民の希望を叶えるということで、市民アンケートの結果による出生率を掲げたものである。

委員：市民の希望を最終目標にすることは良いと思うが、「出生率は国・県の施策によって大きく左右され、市での対応だけでは難しい部分もあるが、市民の希望を達成していきたい」といった表現にしてはどうか。

委員：この総合戦略をどのように実行していくかが重要であり、他の地域と似たようなものではなく、市の特色や、自然、観光、農業、企業など他とは違う資源を生かしたオンリーワンのまちづくりをして欲しい。
また、特色としてILCがあるが、実現できなかった場合についても考えた方が良いのではないかと思う。

委員：基本目標としては変更するとのことだが、地域協働体の体制強化（専任事務局職員の配置割合）とは具体的にどういう意味であるか。

市：住民が主体的に地域づくり活動を行うため地域協働体の設立を支援しているが、地域協働体が自ら活動を企画、実施していくためには専任の職員が必要と考え、指標としたところである。

なお、協働のまちづくりの指標としては限定的と考えられることから、別の指標を検討しているところである。

委員：これは手段であって効果ではないと思うので、効果が分かる指標とするのが良い。

他の基本目標について、設定した項目や数値についての説明が不足しているように思うので、解りやすく記述したほうが良い。

また、KPIについて、主要な取組とリンクしていればよいが、偏りがあるように思われる。

委員：総合戦略では網羅的に取組を掲載しているが、実行するうえで財政的に問題はないか。

市：市町村の姿の変化に対応した交付税算定や、合併特例債・過疎債の延長などもあり、5年間の戦略を実行するうえでは大丈夫であろうと考える。

【委員意見】

- 官民連携や民間の力を借りることについて、もっと具体的に出していった方が良い。

「誇りと愛着が持てる」という表現は抽象的なので、具体的にしたいほうがよい。

10年、20年、30年後にどういう街になっているのかイメージが湧かない。市民にイメージを持ってもらう事が大切ではないか。

コンパクトシティのように都市機能の集約を図り、集約された都市間で協力してお互いに成り立っていくという方向性が考えられる。

- 資料の上では具体的で非常に分かり易くなっているが、イメージが湧かない部分もある。

総合戦略の4つの目標について、市民がどう受け取るか、理解してもらえるかが気になる。そのためにも、目標に対して来年、再来年と短期間で検証し、示していくのも一つの方法だと思う。

若い人と女性に対しての施策等が大きな割合を占めるので、市民の希望や意見を聞ける場がもっと必要ではないかと感じた。

この会議に出席して、自分なりに行動していかなければならない事があると思った。

- 現状と課題について、アンケートの結果が細かく反映できていると思ったが、それに対しての取組や事業については期待したよりも数が少なかったのもう少し欲しい。

例えば、経済的負担の軽減を図る、目指すとなっているが、それに対しての事業や取組がもう少し細かく欲しかったと思う。

- 総合計画と7～8割の内容が重複していると思った。今後限られた職員と予算でどのように実行していくのか心配に思う。

市役所内の各部課同士がうまく調整していかないと厳しいのではないかと。市役所からすると、総合計画やまち・ひと・しごとなど、違う種類の計画や戦略だとしても、市民の側からすれば、同じようなことを2回、3回と要求されたり、質問されたりと感ずるかもしれないので、そういう事がないように上手く進めてほしい。

また、一年ごとに指標をクリアできているかどうかの確認を行うべきと考える。

- 資料はうまくまとめられているが、もっと具体的で市としての明確なビジョンが必要ではないか。明確なビジョンがあればこそ、市民はついてくるのではないかと。

若者の人口流出について、市内に進学先が少ないので、進学や就職で若者が市外へ流出するのは仕方がないが、若者が卒業後に戻ってくるかどうかは仕事が最も重要ではないか。

結婚支援や子育て支援なども大切だが、収入がなければ若者は結婚も出産もできない。若い人が帰って来られるまちにしたいと思っている。

- 市の取組の周知や情報発信について、報道の立場から支援していければと思う。特に今回掲げたビジョンは、世代を超えて継続した活動が必要になってくるので、関連する様々な動きを報道でも逐一取り上げていきたい。計画や情報に関しては、市民に分かり易く伝える事が大切だと思う。

出て行った若者達が、不安なく地元に戻って働ける環境を作りたい。企業として力を入れなければならない。

人口減少の危機的状況を具体的に知ることによって、一市民としてこの計画の5年間を足掛かりに考えていかななくてはいけないと感じた。

- 出生率の向上は難しいのではないかとと思うが、様々な施策を講じていく中で、民間企業として協力したい。都市部に負けない魅力をつけ、企業に力をつけていく支援をしたい。

産業がなければ市は衰退してしまう。産業支援が重要だと考えている。ビジネスマッチングなど、行政と一緒にやっていくが、複数回参加しないとなかなか成果が表れないところであり、支援があってもよい。

また、市の支所等の空いているスペースに希望する金融機関の支店を入れるなど、資産を有効活用しても良いのではないかと。

- 事業の中で、市として特に力を入れていく所を明確にして欲しい。

雰囲気が良いという理由で古民家を購入する方がいる。古民家の雰囲気を生かして街並みに統一性、オリジナル性を持たせる手段になるのではないかな。

古民家だけでなく、農業や伝統工芸についても、魅力的であっても後継ぎがないことが一番の問題だと考えている。補助金を出せば何とかなる問題ではなく、どうやって継続させていくのかということが重要ではないか。後継者のための支援策を考えてほしい。

山奥や古民家などで開催したクラフターズマーケットは、以外にも若い女性に人気がある。デジタル化が進む一方で、若い人は古い物を求める動きもある。

インターナショナルスクールは市外から人を呼び込むことができていると思っている。インターナショナルスクールがある地域は東北では非常に限られており、子供の頃から国際交流できるのは魅力的だと思う。

- 市だけで取り組むには、人的・予算的に難しい所もある。行政と民間で一緒に取り組むことでもっと効率よくできると思う。

人口減少に伴う問題について、パンフレットなどで市民に解りやすく伝えられるものが欲しい。理解が深まって実感することができれば行動も伴ってくると思う。

- 人口減少対策については、やはり市が推進役になるべきである。市民との協働を打ち出しているが、それによって住民が内容を理解し、効果に結び付いているかどうかを検証、評価できることだと思っている。

記載する内容は、説明されなくても解るように整理していく必要がある。目標や指標についても、なぜそう設定したか、という考え方を示すとさらに良くなると思う。

【市長公室長発言】

6月24日の第1回から約4か月の間に5回の有識者会議を開催してご意見をいただき、ここまでまとめることができた。

少子高齢化と人口減少が問題となっている。高齢化は既に問題化していたところであるが、少子化、人口減少についても実際には進行しており、国を挙げて危機感を持ち、対応しようとしているのが昨今の地方創生の動きである。

少子化、人口減少は大きなテーマであり、手探りで対策を検討してきたが、目指すべき方向は4つの基本目標に集約されたと思う。今回までの会議で総合戦略のフレームができたことから、策定までの間に、いただいたご意見を検討のうえ反映させていくとともに、今後は総合計画とも連動し、新年度予算編成で具体的な内容をさらに盛り込んでいくことになる。

今後とも、総合戦略の見直しや、来年度以降に検証を行う際には、有識者会議を開催させていただくので引き続きよろしくお願ひしたい。

これまでのご協力に感謝申し上げます。

9 担当課

市長公室政策企画課